平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	永束　昇			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	歩道等総合整備計画の推進。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	歩道等総合整備計画に基づく対策のより効果的な推進。
②①に基づく取組み結果	歩道等総合整備計画に基づく事業を関係各課と連携し着実に推進した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図（対象をどうするのか）	交通事故の減少
②事務事業の概要	歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯・ガードレール・道路反射鏡・道路標識等の交通安全施設の整備を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市民意識調査にて、交通安全対策への不満足度は40%、重要度は82.8%と市民の関心は高い状態にあるが、市内の人身事故は減少傾向にある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	道路反射鏡43基、道路区画線6.6Km、交通立看板42基、滑り止め舗装69.7㎡

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	415	299	255	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	4.6	3.2	2.6	人	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		14,976	14,848	金額（千円）	内容	12,500
	国支出金（千円）	0	0	14,524	歩道等整備工事	0
	県支出金（千円）	0	0	324	交通立看板作製委託	0
	市債その他（千円）	0	0			0
	一般財源（千円）	14,976	14,848			12,500

Ⅳ　評価・検討

①課題	歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保をする責務があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	15,000	14,850	当初 15,000	14,848	H28からの繰越	0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越 0		現年分	14,848
④未完了・非着手の理由				補正 0			
				流用・充当 −150			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）	0				

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	永東　昇			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市の点検方法の制定。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	市の点検方法の制定。
②①に基づく取組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路照明灯・道路反射鏡等の安全施設	意図（対象をどうするのか）	更新を行い、全ての人が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路照明灯・道路反射鏡等）の更新を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	道路照明灯更新10基

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	415	299	255	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	4.6	3.2	2.6	人	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
				金額（千円）	内容	
事業費（千円）		4,568	4,428			2,500
	国支出金（千円）	0	0	4,428	交通安全施設更新工事	0
	県支出金（千円）	0	0			0
	市債その他（千円）	0	0			0
	一般財源（千円）	4,568	4,428			2,500

Ⅳ　評価・検討

①課題	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	道路照明灯更新工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	道路照明灯更新工事	5,000	4,502	当初	5,000	4428	H28からの繰越 0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越	0		現年分 4,428
④未完了・非着手の理由				補正	0		
				流用・充当	−498		
		平成30年度への繰越額（単位；千円）	0				

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	永束　昇			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の制定。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の制定。
②①に基づく取組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図（対象をどうするのか）	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：○道路補修・清掃委託　○排水管（溝）清掃委託　○道路維持工事

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	「道路の状況」満足度	14.5	－	－	%	市民意識調査
ii	道路パトロール日数	128	128	128	日	業務取得
iii						

③事務事業のコスト

	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成30年度予算
事業費（千円）	169,052	108,104			148,095
国支出金（千円）	11,567	1,452	52,995	維持補修等工事	22,935
県支出金（千円）		0	54,250	道路補修・清掃等委託	0
市債その他（千円）	17,400	0	859	道路愛護活動報償費	0
一般財源（千円）	140,085	106,652			125,160

Ⅳ　評価・検討

①課題	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成29年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
109,500	110,427	当初	109,500	108,104	H28からの繰越	0
		H28⇒29繰越	0		現年分	108,104
		補正	0			
		流用・充当	927			
平成30年度への繰越額（単位；千円）	0					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	流域環境整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	2	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	永束　昇			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	鎌ケ谷市の河川等施設に応じた点検方法の制定。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	鎌ケ谷市の河川等施設に応じた点検方法の制定。
②①に基づく取組み結果	国基準の情報収集と動向調査		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	河川、水路、調整池	意図（対象をどうするのか）	施設の機能維持
②事務事業の概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草・清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	施設の老朽化が進んでおり、大規模な修繕とともに、長寿命化のための対策が見込まれる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：○河川管理委託　○河川・水路清掃委託　○スクリーン清掃委託　○河川・水路維持工事

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	河川・水路に対する満足度	13.8	－	－	%	市民意識調査
	ii	河川・水路除草面積	58,610	58,610	58,610	㎡	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	22,716	27,871			26,604
国支出金（千円）	0	0	17,000	河川管理委託	0
県支出金（千円）	0	0	10,850	維持補修工事	0
市債その他（千円）	0	0			0
一般財源（千円）	22,716	27,871			26,604

Ⅳ　評価・検討

①課題	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	河川・水路の清掃・維持工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	河川・水路の清掃・維持工事	27,954	27,954	当初	27,954	27,871	H28からの繰越 0
				H28⇒29繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0		現年分 27,871
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		平成30年度への繰越額（単位；千円）			0		